

平成 20 年 10 月 1 日

お客様 各位

日本バルカー工業株式会社

PFOA に関する対応について

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、お問い合わせの多い PFOA 削減、全廃につきましては世界的な動向であり、当社といたしましても、原材料メーカーの削減プログラムに全面的に協力するべく、規制に先駆けて対応を行ってまいりますので、以下にご報告申し上げます。

敬具

記

1. PFOA*とは

PFOA は主にふっ素樹脂パウダー製造時の反応助剤（重合乳化剤）として、また一部のふっ素樹脂ディスパージョンやふっ素樹脂塗料の界面活性剤として使用されており、当社製品の原材料にも多く使われております。

2. 世界における PFOA 削減計画について

PFOA による健康影響については潜在的な健康影響を含めてよくわかっていませんが、人工物であり世界規模で多く検出されている事実があることから、予防措置としてふっ素樹脂、ふっ素テロマーを製造している 8 社**（当社のふっ素樹脂、ふっ素系エラストマーの原材料メーカーも含まれます）が、米国 EPA に対して自主的な PFOA 削減プログラム（2010/2015 PFOA Stewardship Program***）を締結しております。

各社ともこのプログラムは米国外での事業活動についても同様としているため世界規模で行われていることであり、日本の経済産業省も支持しております。

3. 当社の対応

当社としても、世界的な予防措置に協力し、原材料メーカーの削減プログラムと歩調を合わせ、速やかに切替が行われるよう協力していきます。原材料メーカー各社が、プログラムの前倒しを行う場合も同様に協力していきます。

以上

*PFOA の定義：当社ではふっ素樹脂工業会の考え方に基づき「PFOA」といった場合はパーフルオロオクタン酸およびその塩（特にアンモニウム塩）を含むものとして取り扱っております。

**8 社：3M、Arkema.Ink、旭硝子、Ciba Specialty、Clariant Chemicals、ダイキン工業、E.I. Dupont de Nemours and Company、Solvay Solexis

***Stewardship Program

- (1) 遅くとも 2010 年までには、2000 年をベースラインにして PFOA、PFOA に分解しうる前駆体（テロマー）等の工場からの排出および製品中の PFOA 含有量を 95%削減する。
- (2) 遅くとも 2015 年までには、PFOA、PFOA に分解しうる前駆体（テロマー）等の工場からの排出および製品中から全廃するために取り組んでいく。